

学校説明会Q & A

日高高等学校附属中学校

【 中学校関係 】

《出願手続等》

Q：入学者募集要項はどこで手に入りますか。

A：本校または、他の和歌山県立中学校、BIG・U、紀北・紀南教育事務所にあります。

Q：定員40人の内訳は男子20人、女子20人ですか。

A：男女あわせて定員40名です。

Q：調査書の用紙は、いつ頃小学校の担任の先生に渡したら良いでしょうか。

A：出願日が1月4日（水）～10日（火）（1月10日消印有効）ですので、できるだけ早く、遅くとも2学期中に担任の先生にお願いしておいたほうがよいでしょう。

Q：特別措置願について教えてください。

A：特別措置願は、身体に障害等があるため、通常の方法により適性検査、作文及び面接を受検することが困難と思われる場合に提出します。あらかじめ、小学校長に相談して下さい。また、詳しい内容については、入学者募集要項の2ページを参照してください。

Q：出願書の写真に、デジタルカメラで撮って、自宅のパソコンで写真プリント作成したもの（サイズは形式に沿ったもの）を使用してもよいでしょうか。

A：上半身の写真（縦4cm×横3cm）で出願3ヶ月以内に撮影した（無帽）ものであれば、自宅で撮影し、プリントしたものでかまいません。ただし、志願者の顔がはっきり判別できないものは撮りなおしをお願いすることになります。

Q：受検の際に各種検定等の合格証明書は必要ですか。

A：必要ありません。

Q：就学通知書はいつ届けられますか。

A：市町村教育委員会によって多少送付時期が異なるようですが、2月前後に送付されると思います。

Q：就学援助制度とはどのようなものですか。

A：お子さんの就学に関して、経済的にお困りのご家庭に対して、市町村から援助を受けられる制度です。希望される方は、入学後に学校まで申し出てください。また、小学校の卒業時に申請手続きを済ませている方も、入学後、学校までご連絡ください。

《学校生活・学習について》

Q：中高一貫教育校として学習進度はどのようになっているのですか。中学2年生までに中学3年生の学習内容を終わってしまうということがあるのですか。

A：中学2年生までに中学3年生の学習内容を終わることはありません。

学習指導要領に則り学習を進めています。ただし、授業時間を市町村立の学校よりもかなり多く取っていますので、その時間を利用して学んだことを活用したり、発展させたりする学習があります。その中で、先の学年で学ぶことを生徒の加重負担にならないような形で学ぶことがあります。

Q：高校の先生が教えている教科は何ですか。

A：保健体育、芸術、社会等において教えています。

また、卒業研究、夏期補習、中高つなぎ授業等、高い専門性を必要とする内容の学習では中学校の教員と高校の教員が協力して授業をしています。

Q：体育で武道も習うのですか。

A：学習指導要領で必修となっています。

本校では剣道、柔道を教えています。

Q：中学生は積極的に授業に取り組んでいますか。また、中学生と高校生の関係はどうでしょうか。

A：授業はもちろんのこと、様々な活動においても積極的に取り組んでいます。

文化祭や体育祭等中高合同の行事もあります。

高校生は、中学生を弟や妹のように見守ってくれています。

Q：通学方法は、電車、自転車どちらでも可能ですか。日によって違ってよいのですか。

A：はい、可能です。日によって違って結構です。

Q：研修や社会見学等について教えてください。

A：1、2年生で、1泊2日の宿泊研修や1日研修・社会見学（体験活動）、3年生では、修学旅行を実施しています。宿泊研修では「青少年自然の家」等を利用したり、体験活動では県の事業補助等を活用したりするなど、できるだけ経済的負担がかからないように工夫しています。

Q：夏の制服は長袖のみですか。

A：規定のカッターシャツであれば、長袖、半袖のどちらでもかまいません。

Q：女子の制服について、居住地周辺の中学校ではスカートとズボンを自由に選べることになっているのですが、こちらではどのようになっておられるのでしょうか。

A：本校での女子生徒用制服は、スカートまたはスラックスを選択することができます。

Q：給食は実施してないということですが、昼食はどうなっていますか。また、家に食べに帰ることはできないのでしょうか。

A：県立学校での給食はありません。

生徒の安全管理上、日高高校も日高附属中学校も、昼食を家に食べに帰ることは許可していません。お弁当が準備できない日は、生徒ホール（食堂）を利用してください。

Q：弁当を持参している生徒さんは全体の何割ぐらいいますか。

A：現在は、ほとんどの生徒が持参しています。

Q：学校に携帯電話等を持って行ってもよいですか。

A：登下校時の連絡手段やその他やむを得ない事情がある場合、保護者からの申請により許可しています。

ただし、登下校時のみの使用としています。

Q：校則はどうなっていますか。

A：近隣の中学校と同様にお考えいただければと思います。

Q：国際交流が盛んなようですが、ホームステイ等の受け入れはしなくても良いのですか。

A：希望されるご家庭には、留学生等の受け入れをお願いしています。

Q：塾に行く必要はありますか。

A : ご家庭の判断にお任せしています。

Q : 宿題は多いですか。

A : 学力保障の観点から、適切な量の宿題を出しています。
今のうちに、是非、学習習慣をつけておいて下さい。
真面目にコツコツと努力することで、確かな学力が身につけてきます。

《部活動について》

Q : クラブには絶対に入らないといけませんか。

A : 全員が部活動に参加しなければならないわけではありません。部活動見学や体験入部等を経て、希望する生徒が部活動に参加しています。

Q : 開設部以外の種目で中体連の試合に出たいのですが、参加を認めていただくことはできますか。

A : 中体連に参加できる部は、原則として開設部だけです。
新たな部の開設の予定はありません。
しかし、個人的に社会教育活動等に参加されるのは自由です。

Q : 部活動は途中で退部や部の変更はできますか。また、2つ以上の部に入部できますか。

A : 部活動の途中退部はいつでもできます。ただし、原則として他の部への再入部は学期が変わるまでできません。また、中学校では2つ以上の部に入部することはできません。

Q : 中学3年生の夏以降の部活動は、どのようになるのですか。

A : 中学3年生は8月頃から「つなぎクラブ」と称し、高校側が受け入れ可能なクラブについては、高校のクラブに入部できます。(高校で開設しているすべてのクラブではありません。受け入れについては毎年検討した上で決定します。)

《その他》

Q : 高校への進学はどうなりますか。中学3年間終了後、進路変更はできますか。

A : 中高一貫教育校なので、原則として県立日高高等学校総合科学科に進学します。他校への進学は保護者の転勤等で生徒が通学困難になる等、やむを得ない理由が生じた場合に限りです。

Q : 中学3年間終了後、日高高校の総合科学科ではなく普通科への進学は可能ですか。

A : 普通科へ進学することはできません。

Q : 学力不振になったり、やる気を失ったりした場合、別の進路への変更は考えられますか。

A : 原則的にはできません。
中学生の思春期の時期は、やる気をなくしたり、学習に積極的に取り組めなかったりする期間が、生徒の個人差はありますが、誰でもあります。本校では補習を行ったり、日高シナジー・出前授業・体験的な学習等で学習に対する興味・関心を持たせたりすることで、日高高校で頑張れる力をつけています。また、卒業生達は、中学校で培った力をもとに、真面目にコツコツと粘り強く高校の学習に取り組んでいます。

Q : 転勤が多いので、卒業するまでに自宅から中学校が遠くなったときはどうしたらよいでしょうか。

A : ご家庭で通学方法をご検討ください。
ご不明な点については、ご相談ください。

Q：実際の授業の様子を見られる機会があればよいのですが。

A：和歌山県は毎年「きのくに学び月間」を設け、学校開放を行っています。
今年度の実施は別紙通りです。

この期間は、一般の方々も授業参観、部活動見学等ができる予定です。

ご来校の際には、前日までに電話連絡を行い、当日は事務室で受付を済ませてからご参観ください。
ただし、学校行事の関係や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ご見学いただけない場合があります。

Q：日高等学校附属中学校出身生徒の高校卒業後の進路・進学状況はどうか。

A：在学中の様々な学習活動を通じて、より高い目標をもつ生徒が多くいます。
学習活動等の実績を生かして、進学する生徒もいます。
総合科学科の先輩は、半数程度の生徒が国公立大学に進学しています。

Q：質問などあれば学校の方に直接お尋ねしてもよろしいですか。

A：はい、結構です。（日高附属中学校 TEL：0738-22-0500）

【 高校関係 】

Q：高校入学時には入学金は必要ですか。

A：県立高等学校へ入学するときに、入学金が必要になります。この入学金は和歌山県の条例・規則で定められています。

Q：総合科学科から文系の大学への進学は可能ですか。

A：文系進学にも対応できる科目を設定しています。また、実際に文系の大学へ多数進学しています。